



堀江 和雄
(公明)



小さな交通グリーンズローモビリティの活用

Q 公共交通ネットワークを補完する小さな低速電
動車であるグリーンズローモビリティが公共交通と
地域を変える可能性を伺う。

A 今後、基幹交通の行き届かない地域へ補完する
サービスとして、既存のバスや自動運転のほか、グ
リーンズローモビリティも担えると考える。地球環
境にやさしい持続可能な公共交通を実現するため、
グリーンズローモビリティの導入について調査、研
究していく。

自治体予算の見える化であるデジタル予算書

Q DX推進により予算書内の複数のデータを分
析・解析処理してグラフ化・数値化して表すディ
ジタル予算書の取り組みへの見解を伺う。

A 現在の当初予算補完資料と
しての予算案の概要は、十分
にその役割を果たせていると
認識しているものの、諸デー
タを紐づけ、一元化してタブ
レット等で見ることでできる
デジタル予算書の有効性も理
解できることから、かかるコ
スト等も含め調査・検討していく。



石井 真人
(新風会)



令和4年長期財政計画からの各事業の増加額

Q 令和4年5月作成の長期財政計画と現在を比
べ、新庁舎、再開発、長伏グラウンド、藤代住宅
体育館整備の各事業の増加額を伺う。

A 現行の長期財政計画に計上
している額と現在把握している
事業費の差額は、新庁舎建設で
約33億円から約57億円、再開発
で約4億6千万円、長伏グラウ
ンドで約6億7千万円、藤代住
宅で約7億円、体育館整備で約2億6千万円である。



費用便益比1.0以下で事業を見直さない理由

Q 再開発事業単独での費用便益比が1.0を切っ
ているにもかかわらず、事業内容や設計を見直さず
そのまま推進する理由を伺う。

A 費用便益比は事業推進における絶対的な判断基
準ではないと捉えているが、「市街地再開発事業十
定期借地事業」一体の費用便益比を考慮し、補助金
の対象とする事業費に上限を設定した。地元企業の
活用も含め、工事費の低減について引き続き取り組
んでいく。

他の質問事項

工事中に駅前の代替駐車場を確保すべきでは



服部 正平
(日本共産党議員団)



噴出する赤褐色の地下水への対応

Q 第3次三島市環境基本計画の重点取組である
「水・土壌保全」として、市道祇園原線の赤褐色の
地下水への対応を求めるがどうか。

A 市道祇園原線の赤褐色の水
について、現在、何らかの汚
染が発生しているとは認めら
れない状況である。法令に基
づき観測井戸におけるダイオ
キシン類及び水質の測定を実
施しているため、今後も引き
続き、観測井戸における定期
的な水質検査を確実に実施す
る。



当市のマイナ保険証のトラブル対応

Q マイナ保険証に関わるトラブルが各地で起きて
いる。当市のトラブル発生状況とその事業に対す
る事前事後の対応について伺う。

A 資格確認のエラーに関する問合せがあり、オン
ライン資格確認等システムへの情報連携が不完全
だったものは、登録情報を再送してエラーを解消し
た。トラブルや情報漏洩が発生しないよう正確な情
報登録に努め、エラー発生の際には速やかな対応を
行っていく。



村田 耕一
(公明)



北田町での立体駐車場ライフサイクルコスト

Q 詳細設計のない北田町での立体駐車場の80年の
ライフサイクルコスト、建設費9億円、運用費5億
円、保全費37億円の明細と積算根拠を伺う。

A ライフサイクルコストについては、建設コスト
は国の新営予算単価、その他は国監修のプログラム
により算出し、将来の物価上昇を加味しているもの
の、現段階では検討のための概算値である。今後、
規模や形状などが確定していく中で、詳細な算出が
可能となる。

ごみ排出量削減のためごみ処理機購入補助を

Q 令和3年度市民一人当たり1日のゴミ排出量は
823gで、そのうち生ごみが41%を占めている。
生ごみ処理機購入補助制度はできないか。

A 生ごみの減量施策として、
生ごみ処理容器の無償貸与事業
を実施している。機械式生ごみ
処理機は食品ロスの削減とはな
らないが、燃えるごみの減量に
効果があることから、今後、処
理機能の状況や他市町の実施状況を調査研究し、助
成制度について検討していく。



宮下 知朗
(新未来21)



部活動の地域移行実現に向けた呼びかけ

Q 地域移行を実現するためには関係者のご理解・
ご協力が欠かせない。地域のクラブチームや指導者
等へ連携を呼び掛けてはどうか。

A 現在、市関係各課および
スポーツ協会、学校代表で構
成される在り方検討会議で協
議している。多様な意見を取
り入れるため、今後議題とす
る内容により、外部団体や保
護者等メンバーを適切に構成
し、部活動の今後の在り方と
外部との連携について考えていきたい。



届く広報・伝わる広報を実現するために

Q 一人でも多くの市民に市政情報をお届けするた
め、デジタルサイネージの設置数を増やし、ターゲッ
トを絞った配信をしてはどうか。

A 10カ所にサイネージを設置しているため、設置
数を増やすことは、今後の運用状況を考慮する中
の検討事項となるが、よりニーズに即した発信を行
うとともに、市の重要施策をはじめ、市のあらゆる
情報を多くの皆さまに周知できるよう、放映内容の
充実を図っていく。

他の質問事項

学校における熱中症対策のための備品等の整備状況は

議場見学によるひと

放課後児童クラブサードプレイスの皆さんが、
夏休みイベントの一環として
議場見学に来てくれました。
議席に座って議会に
ついてのお話を聞いたり、
議場を自由に見学したり、
夏休みの楽しい思い出に
なっただでしょうか？
これを機に、少しでも議会
に興味を持ってもらえたら
嬉しいです。



11月定例会のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	12/1	2
		本会議 (議案審議)				
3	4	5	6	7	8	9
			本会議 (一般質問)			
10	11	12	13	14	15	16
	本会議 (一般質問)	(一般質問 予備日)		本会議 (議案審議)		
17	18	19	20	21	22	23

本会議は午後1時からの開会予定です。
日程は変更になる場合があります。